



第24回全日本少年少女空手道選手権大会

大会実施要項

＜公益財団法人 全日本空手道連盟＞

- 1 大会名 第24回全日本少年少女空手道選手権大会
- 2 主催 公益財団法人 全日本空手道連盟
- 3 後援 スポーツ庁 (公財)日本スポーツ協会 (公財)日本オリンピック委員会
(予定) (公財)日本武道館 日本武道協議会 NHK
- 4 場所 東京武道館
住所：〒120-0005 東京都足立区綾瀬3-20-1
電話番号：03-5697-2111
交通：東京メトロ千代田線・JR常磐線 綾瀬駅東口下車
(東綾瀬公園内を通り抜け徒歩5分)
- 5 日時 1日目：2024年8月 8日(木) 1・2年形競技・組手競技
2日目：2024年8月 9日(金) 3・4年形競技・組手競技
3日目：2024年8月10日(土) 5・6年形競技・組手競技

8 (木)		9日(金)		10 (土)	
9:00	開場	9:00	開場	9:00	開場
9:40	開始式				
10:00	形競技開始	10:00	形競技開始	10:00	形競技開始
12:00	形競技終了	12:00	形競技終了	12:00	形競技終了
12:10	形競技表彰	12:10	形競技表彰	12:10	形競技表彰
13:30	組手競技開始	13:30	組手競技開始	13:30	組手競技開始
16:00	組手競技終了	16:00	組手競技終了	16:00	組手競技終了
16:10	組手競技表彰	16:10	組手競技表彰	16:10	組手競技表彰
16:30	終了	16:30	終了		閉会宣言
					文部科学大臣旗授与
				16:40	終了

練習会場：日本空手道会館（東京都江東区辰巳1-1-20）

※8月7日(水)～11日(日)の空手WEEK開催期間中、日本空手道空手道会館の大道場と中道場を開放する。詳細については全空連から各都道府県連にお知らせする。

- 6 種目 小学生1～6年生の男子・女子の組手及び形競技個人戦
- 7 参加人員 学年別・男女別それぞれ2名を各都道府県代表選手とし、監督・コーチを含め、

KARATE WEEK

次表のと通りの参加数内訳とする。

種目	組手競技				形競技			
選 手	男子	1年～6年	各2名	計12名	男子	1年～6年	各2名	計12名
	女子	1年～6年	各2名	計12名	女子	1年～6年	各2名	計12名
	組手 計24名				形 計24名			
	選手(男・女)計 48名							
監督・コーチ	監督1名、コーチ4名							
総人員	53名							

- (1) 同一選手が組手と形の両方に出場することは認めない。
- (2) 前表に加え、前回大会の優勝者、準優勝者、第3位(2名)の4名に当該種目の出場権およびシード権を与える。
 - (ア) 出場権およびシード権を持つ選手が出場しない場合、出場権およびシード権の繰り上げは行わない。
 - (イ) 出場権およびシード権を持つ選手が異なる種目に出場する場合、また前年度と異なる都道府県から出場する場合、その選手は出場権およびシード権を失う。
 - (ウ) 出場権およびシード権を持つ選手の出場申し込みは、所属の都道府県空手道連盟を通じて行う。なお出場費はほかの選手と同様とする。
 - (エ) 前年度大会の準決勝において、1位選手に負けた選手を第3シード、2位選手に負けた選手を第4シードとする。

8 競技規定

- (1) 競技は、公益財団法人全日本空手道連盟空手競技規定(2023年4月1日初版、新ルール)並びに本大会申し合わせにより行う。
- (2) 組手競技個人戦
 - (ア) トーナメント方式で行い、3位決定戦は行わない。
 - (イ) ビデオレビューは行わない。
 - (ウ) 決勝戦は、各コートにおいて学年別男女別に競技する。
 - (エ) 競技時間は1分30秒フルタイムとする。
 - (オ) 勝敗は、競技時間内に6ポイント差が生じた場合、あるいは反則・棄権・失格、又は競技終了時に得点の多い選手を、同点の場合は「先取」のある選手を勝ちとする。競技終了時に同点で先取のない場合は、1本の多い選手を、それでも同数の場合は技ありの多い選手を勝ちとする。それでも決しない場合個人戦においては、副審の4名と主審の個々の判断に基づき、判定により勝敗を決定する。
- (3) 形競技個人戦
 - (ア) 1回戦からベスト8まで
 - ・旗方式(勝敗は審判員5名の赤・青旗の多数決)、トーナメント方式で行う。
 - (イ) 準決勝ラウンド
 - ・得点方式で行う。
 - ・8名の競技者は2つのグループ(Aグループ、Bグループ)に分けられる。

KARATE WEEK

・演武の順番は、抽選で決定する。

(ウ) 3位決定戦

・Aグループの2位とBグループ3位、Aグループ3位とBグループ2位で行う。

(エ) 決勝戦

・各グループの1位同士で行う。

(オ) 準決勝ラウンド・3位決定戦・決勝戦は1名ずつ演武する。

(カ) 1回戦からベスト8までは、全空連基本形一～四（ゲキサイ第1、ゲキサイ第2、平安、又はピンアン初段～5段）の中から選択する。同じ形を繰り返して演武することができる。

(注)形名の呼称は従来のおり形名だけとします。（基本形という名称は不要）

(キ) 準決勝ラウンド(ベスト8)は、全空連第1指定形、第2指定形、または上記(カ)の形でまだ演武していない形から選択する。

(ク) 3位決定戦、決勝戦は、(カ)(キ)で演武していない指定形または基本形を選択する。

(ケ) 準決勝ラウンド・3位決定戦、決勝戦で同点の場合、以下による同点の解決により勝者を決定する。

【同点の場合の解消方法】

- ① 有効点のうち最低点の高い者
- ② 有効点のうち最高点の高い者
- ③ 再試合

(4) 大会審判団は、全日本空手道連盟公認審判員により編成される。

(5) 組手安全具

(ア) 組手全種目に全空連承認品である小学生用拳サポーター(赤・青リバーシブル)、メンホーNo. 7 (ミズノ製)、メンホー用マウスシールド (ミズノ製) 任意装着、ボディプロテクター、小学生用インステップガードとシンガード (新型旧型共に可) を装着すること。なお、これらの安全具は選手各自において用意すること。

(イ) 小学3～6年生男子選手は必ずセーフティカップを着装する。

1、2年生は所属の指導者(監督・コーチ)の判断に委ねる。

(ウ) 安全具着装のない選手は出場できないので、充分注意すること。

(6) 服装

(ア) 競技場内において選手につく監督・コーチの服装については、以下の通りとする。

- ・ダークスーツ又はジャケット・ブレザーの着用、全空連のエンブレムは不可※
- ・スラックスは、紺又はグレー系
- ・ネクタイは全空連指定は不可※、紺・グレー系で派手な色合いは避ける
- ・ワイシャツは白色
- ・シューズは、派手な色合いは禁止とする(サンダルは禁止とする)

※全空連エンブレム、ネクタイについては、審判員と同じ服装を避けるため

※女性はスラックスまたはスカートでもよく、ネクタイを着用してもしなくてもよい

空手着メーカーについては指定しない。

空手着の紐は結ぶ。紐なしの空手着は不可。

左胸に都道府県名を入れる。(7ページ参照)

監督(1枚)・コーチ(4枚)・選手のIDカードを発行する。

(イ) 金属類のヘアバンド、ヘアピン等の使用は一切認めない。

(ウ) 交付される参加章(ワッペン)を競技時着用の空手着の左肩口に必ず縫い付けるこ

KARATE WEEK

と(7ページ参照)

- (エ) 赤帯・青帯は全空連で検定された帯を各自用意し着用する。
主催者では用意しない。
- (オ) 空手着の首後ろの製造業者商標は白布または白テープで隠すこと(7ページ参照)
- (7) 競技規定(旧ルールブック P68) ※12歳未満の禁止事項について
 - ・全ての得点部位(上段及び中段)への技は、部位までの距離が近くコントロールされたものでなければならない。
 - ・上段へのコンタクトは、軽微であっても原則的にペナルティが科せられる。
 - ・10cmまでの得点部位への正確な技は、原則的に得点とみなされる。
 - ・中段への技がコントロールされたものであっても、表面以上にコンタクトがあった場合は、得点にはならない。
 - ・足払い、又はその他の投げ技は禁止とする。
 - ・試合時間は1分30秒とする。

9 表彰 (1) 文部科学大臣旗の授与

男女別に総合得点最上位の都道府県に対し、文部科学大臣旗・同大臣賞状をそれぞれ授与する。得点及び順位決定は次による。

(7) 国体方式に基づき、各種目の入賞者に次の得点を付与する。

組手 1位 8点 2位 7点 3位 5点(2名) 5位 2. 5点(4名)

形 1位 8点 2位 7点 3位 5点(2名) 5位 3点(2名) 7位 2点(2名)

(イ) 総合得点と同点の場合は優勝者数の多い都道府県に授与する。

(ウ) さらに同点の場合はすべてを同点優勝とする。

(2) 組手・形ベスト8進出選手を次のとおり表彰する。

※試合は1回戦から決勝戦、表彰式まで通して行う。

決勝戦終了後、組手・形の優勝1名 準優勝1名 第3位2名、組手・第5位4名、形・第5位2名(3位決定戦の敗者) 第7位2名(準決勝ラウンドの各グループ4位)及び総合優勝の都道府県監督は必ず表彰式に参加すること。

10 監督会議

オンライン会議

令和6年7月30日(火) 19:00~20:30

※全少大会、パラ競技大会、体重別大会の順に説明を行う

11 審判員

大会審判団は、公益財団法人全日本空手道連盟公認審判員をもって次により編成する。

- (1) 各都道府県が推薦した全国組手審判員及び地区形審判員以上の資格を有する審判員を大会審判員に委嘱する。なお選手が参加する都道府県は最低2名以上の審判員を推薦すること。
- (2) 大会審判員に不足が生じた場合は、関東地区から委嘱する。

12 安全管理

- (1) 選手は、本大会前1週間以内に各自において健康診断を受け、医師の出場許可を得ておくこと。(全空連への提出は不要)
- (2) 傷害保険を、主催者側の負担により参加選手全員に付保する。
- (3) 出場選手が競技中負傷した場合は、主催者において応急処置を施す。
- (4) 出場選手が利用できる健康保険証を携行すること。

KARATE WEEK

- 13 出場資格 (1) 出場選手、監督及びコーチは、公益財団法人全日本空手道連盟会員であること。
また「JKF 会員マイページ」に登録をしていること。
※全空連の会員登録だけでは JKF 会員マイページ登録をしたことにはならない
《マイページ登録問合せ先》
・全空連ホームページお問合せフォーム
・TEL：0120-15-6003(10時～16時 土日祝日も対応)
【問合せ先】全日本空手道連盟 会員担当 03-5534-1951(平日9時～16時半)



全空連マイページ QRコード

- (2) 監督及びコーチは、公益財団法人日本スポーツ協会公認空手道コーチ1以上
または地区組手審判員以上の資格を有する者であること。
(3) 出場選手は、各都道府県連盟が選出した代表選手であること。
また全空連段位または級位を保有していること。
※会員情報に段位・級位の登録がお済でない方の登録方法について
段位保有者 → 段位免状または受審申請書(審査日・申請者の記載)のコピー
を全空連事務局宛てに送付する
級位保有者 → 当該団体会長が確認し、内容に相違ない事を証すること
(全空連に書類等は提出不要)
- 14 出場申込 (1) 1名1種目とする。
(2) 選手出場費として1人8,000円を納めること。
※納入後の出場料は返金不可。
(3) 申請方法：WEB申請のみ。
WEBでの申込み
・WEB申込の操作マニュアルを参照
・出場費支払い方法：クレジットカード(一括払い)又はコンビニ決済
※必ず都道府県連盟で一括申込みをしてください。

- 15 申込期間 令和6年5月7日(火)～5月31日(金)
※申込期限を厳守してください。期限後は一切受け付けません。

- 16 宿泊等 (1) 宿泊・交通費は自己負担とする。

17 肖像権について

本大会は、大会の様相をインターネットのライブ配信を予定している。肖像権の取り扱いについて下記の通りとする。

- (1) 公益財団法人全日本空手道連盟が認めたライブ配信業者等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットにより配信されることがある。
(2) インターネットのライブ配信に際して、個人情報(氏名、所属など)、大会記録等を公表することがある。
(3) 本大会参加申し込みにより、上記(1)(2)の取り扱いに関する承諾はいただいたものと

KARATE WEEK

する。

- (4) 訂正などを希望される場合は、本人であることを確認したうえで、当連盟の定める書面の提出又は当連盟ホームページからのお問い合わせフォーム (<https://www.jkf.ne.jp/contactus>) により対応に応じる。

18 その他

- (1) ゼッケンは全空連で作成し、7月上旬頃までに各都道府県連盟あてに送付する。各連盟において査収の上、出場選手に配布すること。その際、ゼッケンが縫い付けられていないと参加できないことを告知し、しっかり縫い付けるよう指導すること。
- (2) 出場申込書提出後の選手の変更は認めない（監督・コーチの変更も不可）。
- (3) 各コートでの受付（集合）時間に間に合わない場合は参加できないので注意すること。
- (4) 当日欠席する選手が出た場合、監督が大武道場出入口に設置の所定ボックスに、欠席届を招集時間までに提出すること。
- (5) 参加チームは、必ず引率者を指名配置し、出場選手の掌握、荷物の管理等に当り、円滑な大会運営、事故防止に協力すること。
- (7) 転倒等の雑踏事故防止のため、入場口付近の混雑が落ち着くまでのあいだ（開場から約1時間程度）は館外にでることができないので留意すること。

19. 問い合わせ先

問い合わせに際しては、都道府県空手道連盟の担当者がおこなうこと。

公益財団法人全日本空手道連盟 企画業務課 岡崎 紀創

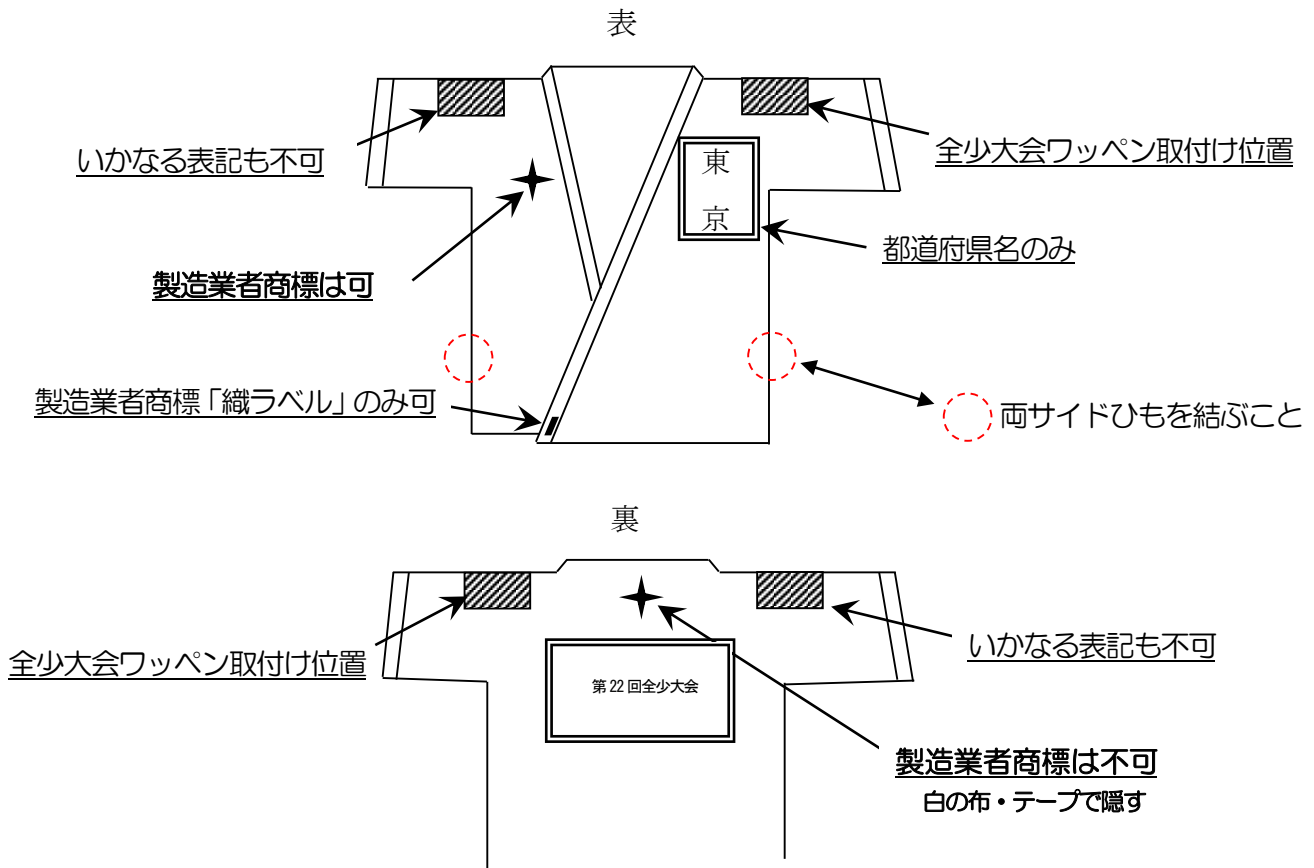
TEL : 03-5534-1951 E-mail : k-okazaki@jkf.jp

20. 東京武道館の利用に関して、以下の行為を禁止する

- ◆観覧席確保のために、大会前日から東京武道館入口周辺にガムテープを使用してブルーシート等を貼って場所取りをし、飲酒すること。
(出場選手関係者の飲酒が発覚した場合は、所属都道府県役員及び関係者の入館をお断りさせていただきます。またコンクリート面へのガムテープの使用は禁止されておりますので、絶対に使用しないで下さい)
- ◆大会当日に東京武道館敷地内ならびに周辺の公園等で練習を行うこと（館外での練習は終日禁止）。
- ◆館内にくつを直に持ち込むこと
(必ずくつ袋に入れてから入館すること。くつ袋は各自で準備すること。全空連では配布しない)。
- ◆観客席及び練習場等に縄を張ったり、荷物等を置いたりして占拠すること。
また大会初日終了後に荷物を観客席に置いて帰ること。
- ◆東京武道館周辺に一般車及びバスの駐車をする事
(バスを利用する場合は、別添資料にある駐車場案内図を参照の上当該駐車場に直接相談すること。
なおバスによる乗降の場所は綾瀬駅前を利用すること)。
- ◆館内通路等において、ブルーシート等での場所取りや座り込みを行うなど、救急搬送の対応や有事の際に安全な大会運営に支障をきたす行為を禁止する。
- ◆観客席最前列の手すりに寄りかかり観戦することを禁止する。

KARATE WEEK

ワッペン・ゼッケン・胸マークについての注意事項



【参加章ワッペンについて】

1. ワッペンは「左肩口」に必ず縫い付ける。

【空手衣について】

1. 左胸「都道府県名ワッペン」のサイズは「縦 15cm×横 10cm」。※所属先ワッペンなどは不可。
2. 氏名、都道府県ワッペン、参加賞ワッペン、製造業者商標「織ラベル」以外の装飾は不可。

【帯について】

刺繍可。(刺繍糸の色は問わない)

※空手着の製造業者商標のラベルの表記について

製造業者が上衣の裾表側、ズボンの表側(左右どちらか)にはじめから付けられた「織ラベル」は可。各流派などのオリジナルラベルは認める。

以上、厳守くださいますようお願い申し上げます。

KARATE WEEK

別紙

東京武道館 来館の注意点



※できる限り公共交通機関での来場をお願いします。

KARATE WEEK

○電車をご利用の場合

J R山手線・京浜東北線「西日暮里」駅乗換え

東京メトロ千代田線「綾瀬」駅東口下車徒歩5分（東綾瀬公園内をお通りください。）

○車をご利用の場合

※東京武道館周辺道路、私有地は駐車禁止です。

1. 首都高速6号三郷線、加平ICから環七通りを東進、加平二丁目の交差点を右折して南進し、武道館北口交差点を左折200m(大型バスは不可)
2. 首都高速中央環状線、千住新橋ICから国道4号へ、梅島陸橋を右折、環七を東進、以下、1と同様(大型バスは不可)
3. 大型バスの駐車及び武道館周辺での乗降はできません。

○歩行のマナー、以下の行為はおやめください。

- ・マンションなどの住宅敷地や駐車場への立ち入り
- ・集団で横に広がった歩行
- ・騒音（大声での会話・指示など）
- ・道路などへのゴミ捨て
- ・道路などでの喫煙・ポイ捨て

<綾瀬駅改札口付近での待合せはご遠慮ください。>

○喫煙について

- ・大武道場北側2階に臨時喫煙所を設置しております指定する事項を遵守の上、ご利用ください